

|               |  |                     |                  |
|---------------|--|---------------------|------------------|
| 授業科目名         | 図画工作   | 担当教員名               | 石田 晶大            |
| 必修/選択         | 必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)  | 開講学年・学期             | 1年 通年(年間開講数 1講座) |
| 科目区分          | 教職・保育に関する科目  | 単位数                 | 2単位(30時間)        |
| 施行規則に定める科目区分等 | 領域及び保育内容の指導法に関する科目-領域に関する専門的事項(附則第7項) 表現<br>保育の内容・方法の理解に関する科目(別表2)   | 授業方法/担当形態           | 演習 / 単独          |
|               |  | 特記事項                |                  |
| 授業の到達目標       | <p>幼児の造形について理解を深め、造形表現の基礎的・基本的な知識と技能を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図画工作の表現に興味・関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>2. 表現の活動を通して、発想や構想に関する資質や能力を身につけることができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①造形的な遊びを通して、身近な自然物や人工の材料の色や形などを基に、造形的な活動を思いついたり、感覚や気持ちを生かしながら、どのような活動にするかについて考えることができる。</li> <li>②絵や立体、工作に表わす活動を通して、感じたこと、想像したこと、表したいことを見付けることや、好きな色や形を選んだり、色々な形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えることができる。</li> </ol> </li> <li>3. 表現の活動を通して、知識や技能に関する能力を身につけることができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、並べたり、積んだりするなど手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくることができる。</li> <li>②絵や立体、工作に表わす活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、手や体全体の感覚を働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すことができる。</li> </ol> </li> <li>4. 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいことなどについて、感じ取ったりかんがえたりし、自分の見方や感じ方を広げることができる。</li> </ol> |                     |                  |
| 授業の概要         | 折り紙やパス、水絵の具、加工粘土等の身近な材料用具で造形的な遊びを通して、保育者自らが造形活動を楽しみ、幼児の発達と造形表現の関わりについて理解を深めながら造形表現に必要な知識と技能を身につける。   |                     |                  |
| テキスト          | 「幼児造形の基礎～乳幼児の造形表現と造形教材～」樋口一成著(萌文書林)  |                     |                  |
| 参考書・参考資料等     | 「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)<br>その他必要な資料はプリント配布。   |                     |                  |
| 成績評価の方法       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度…授業準備状況、作品等の提出状況(20%)</li> <li>・知識理解…レポートや配布プリントの記述(10%)</li> <li>・造形的な技能…作品の密度や完成度、丁寧な取り組み(70%)</li> </ul>  |                     |                  |
| 授業計画          | 授業の内容  | 到達目標番号              |                  |
| 第1回           | オリエンテーション(授業のねらいと計画、評価、授業内容は参考作品等で解説)、アンケート(学生の造形に関する実態調査)、アートセット配布  | 1,4                 |                  |
| 第2回           | 鉛筆や色鉛筆による表現「イラスト自己紹介」  | 1,2-②,3-②,4         |                  |
| 第3回           | ペンによる線描「季節の花や野菜の観察をもとに」  | 1,2-②,3-②,4         |                  |
| 第4回           | パスによる線描「曲線や直線で喜怒哀楽を表そう」  | 1,2-②,3-②,4         |                  |
| 第5回           | 折り紙で遊ぼう「折り紙積み木」  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第6回           | モダンテクニックで遊ぼう①<br>スパッタリング(ブラッシング)   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第7回           | モダンテクニックで遊ぼう②<br>マーブリング(墨流し)   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第8回           | モダンテクニックで遊ぼう③<br>スタンピング(型押し)、フロッタージュ(こすり出し)  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第9回           | モダンテクニックで遊ぼう④<br>トルピング(吹き流し)、デカルコマニー(合わせ絵)   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第10回          | モダンテクニックで遊ぼう⑤<br>パチック(ロウ画)、コラージュ(はり絵)  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第11回          | 絵の具で遊ぼう①<br>トルピング(吹き流し)を利用した「四季のイメージ色」の表現  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第12回          | 絵の具で遊ぼう②<br>マーブリング(墨流し)の作品を見て、サインペンで新しい形を発見し描き出す(見立ての美術)   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第13回          | 粘土で遊ぼう①<br>加工粘土(小麦粉ねんど等)で「野菜や果物」を本物そっくりにする   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第14回          | 粘土で遊ぼう②<br>加工粘土で「お弁当箱」を作る 小麦粉粘土でおにぎりやおかずなど中身を工夫して制作する。   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |                  |
| 第15回          | 前期授業の振り返りとレポート作成<br>前期で制作した作品の講評を聞き、テキスト「幼児造形の基礎」を読んで「造形表現の意義」について、自分の考えをまとめる。   | 1,4                 |                  |
| 定期試験          | 定期試験は実施しない   |                     |                  |

| 授業計画 | 授業の内容   | 到達目標番号              |
|------|---|---------------------|
| 第16回 | オリエンテーション（授業のねらいと計画、評価、内容については参考作品等で解説）   | 1,4                 |
| 第17回 | 表現技法を活用した教材研究Ⅰ<br>スクラッチを利用した表現  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第18回 | 表現技法を活用した教材研究Ⅱ<br>ステンシルを活用した表現  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第19回 | 表現技法を活用した教材研究Ⅲ<br>にじみを活用した表現  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第20回 | 表現技法を活用した教材研究Ⅳ<br>フィンガーペインティングを活用した表現   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第21回 | 版で表すための教材研究Ⅰ<br>紙版画の特徴を生かして   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第22回 | 版で表すための教材研究Ⅱ<br>ステンシルやローラー遊びを生かして   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第23回 | 版で表すための教材研究Ⅲ<br>スチレン版画の特徴を生かして  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第24回 | 版で表すための教材研究Ⅳ<br>ゴム版の特徴を生かして   | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第25回 | 画用紙や色画用紙を活用する教材研究Ⅰ<br>かぶりものや仮面をつくる  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第26回 | 画用紙や色画用紙を活用する教材研究Ⅱ<br>ポップアップカードの制作①<br>・飛出しカード ・ばたばたカード ・ガオーガード ・山々カード                  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第27回 | 画用紙や色画用紙を活用する教材研究Ⅱ<br>ポップアップカードの制作②<br>・穴のぞきカード ・引っぱりカード ・テーブルカード ・バタバタカード              | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第28回 | 画用紙や色画用紙を活用する教材研究Ⅱ<br>ポップアップカードの制作③<br>・かくれんぼカード ・二本足カード ・立つ家カード ・糸はりカード                | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第29回 | 土粘土で表すための教材研究Ⅰ<br>身近な道具を使って器をつくる ※条件が整えば簡易窯で焼成する  | 1,2-①,2-②,3-①,3-②,4 |
| 第30回 | 後期授業の振り返りとレポート作成<br>後期の作品についての講評を聞き、テキスト「幼児造形の研究」等を参考に「様々な表現技能の特徴やおもしろさ」について、自分考えをまとめる。 | 1,4                 |
| 定期試験 | 定期試験は実施しない  |                     |